

北海道命名150年、栗山町130年に因んだ催しとして、“松浦武四郎”が、161年前の1857（安政4）年、夕張川流域を探查し夕張日誌にまとめた足跡について辿る、講演とバスツアーをご案内します。

## “北海道の名付け親” 松浦武四郎の夕張日誌の足跡を辿る 講演とシンポジウムとバスツアーのご案内 （第84回ふれあいトーク）

日時 **7月10日** 午前10時00分～午後16時30分

場所 栗山町総合福祉センター「しゃるる」

栗山町朝日4丁目-9 電話 0123-72-1117

武四郎は伊勢国（現三重県松阪市）で生まれ、幕末期に北海道を6回踏査し、北海道の地名を克明に記録し地図にあらわしながら、案内役を頼んだアイヌ民族の生活の窮状と場所請負制度の問題を時の江戸幕府や松前藩に進言、改善を訴え続けました。武四郎は夕張川沿いに5泊しています。この講演とバスツアーではその足跡を辿り、武四郎の偉業に触れます。



松浦 武四郎

### 特別記念講演 「松浦武四郎の誇り」 松浦武四郎記念館元館長

10時受付 10時30分～11時30分

高瀬 英雄さん（三重県在住）

### シンポジウム 「松浦武四郎の夕張日誌のルートとアイヌ語地名を推察する」

11時30分～	シンポジスト	ト部 信臣さん	（江別市）	栗山町町史編纂室
12時10分	ツアーガイド	中野 良宣さん	（町内中里）	由仁町郷土史研究会
	ツアーガイド	高橋 慎	（町内松風4）	栗山オオムラサキの会

### バスツアー（午後13時～16時30分）「夕張日誌にみる松浦武四郎の足跡を辿る」

栗山（角田）～由仁（タツコブ）～夕張（千鳥が滝）

参加費 **2,000円**（昼食とバス代・資料代） **先着50名**



※午前の講演とシンポジウムのみ参加費は300円（資料代）です。

※参加希望は電話でお申し込み下さい。

0123-72-3000 オオムラサキ館 または、090-9520-2715 高橋慎まで

主催 栗山オオムラサキの会（オオムラサキの会発足30周年事業）

共催 栗山町農泊推進協議会・夕張川自然再生協議会 後援 栗山町教育委員会

ホテル観賞会のご案内～7月22日（日）7時30分～8時30分 集合場所 里山センター  
里山づくりも18年目となり、目標であったヘイケボタルの生息地は里山全体に広がりました。ぜひ、暗闇の中を光りながら飛び交う夏の風物詩を観に、ご家族連れで訪れ下さい。ホテル復元の取り組みは2000年より、旧ウオーターリフォーム会とオオムラサキの会で担当してきました。